

教員免許状取得について

教員免許状を取得しようとする学生は、免許教科に応じて各学科の教職課程で開講されている科目の単位修得が必要となります。さらに、中学校教諭1種免許状を取得するには、介護等体験に参加する必要があります。

教職課程の履修開始は2年生からです。ただし、教員免許状取得に必要な科目のうち、一部科目については1年生より開講されているものもありますので、教職課程に入る前にあらかじめ修得しておくなど、計画的に履修するようにしてください。

詳細については、学年別の教職ガイダンスを実施しますので、希望者あるいは履修者は必ず出席してください。なお、各ガイダンス等で課されるレポート提出や申し込み手続等を期日までに行わなかった場合、教職課程の受付および教職課程の継続はできないので注意してください。また教育実習等の学外実習や科目履修、各種申し込みについては付帯条件が課せられていることもあります(各ガイダンスで説明します)。

教職課程を履修するには、学費とは別に教職課程履修費・教職実習履修費を納入する必要があります。また、教育実習にかかわる保険料や介護等体験に参加する場合の諸費用等が必要です。

教職課程履修申し込み

1. 教職課程履修の申し込み手続きの受付は、1年生3月下旬に行います。なお、申し込みができるのは、事前に実施された「1年生教職課程ガイダンス」の出席者のみです。
2. 教職課程履修費は28,000円(教職課程履修登録費5,000円+教職実習履修費23,000円)です。以下の要領に従って納入してください。

なお、納入した各履修費の返還はできません。

項目	金額	納入時期
教職課程履修登録費(注1)	5,000円	1年生の3月下旬
教職実習履修費(注1・2・3)	23,000円	2年生の3月下旬

- 注1. 金額は2019年度入学生のものであり、改定する場合があります。
- 注2. 介護等体験へ参加するには、介護等体験費8,500円と賠償責任保険加入料210円(スポーツ科学部生除く)が別途必要です。
- 注3. 教育実習の履修には、賠償責任保険加入料210円(工学部およびスポーツ科学部生除く)が別途必要です。
3. 中学校教諭1種免許状取得希望者は別途介護等体験の申し込みが必要です。

《履修上の注意》

以下の場合、必ず教職支援課へ連絡してください。

1. 教職課程を辞退(教員免許状取得を断念)する場合。
2. 諸事情により、介護等体験(3年生)や教育実習(4年生)を該当年次に行わない場合。
3. 取得希望の免許状の種類・免許教科を変更する場合。
4. 3年生の所定期日に提出する、教育実習用「自己紹介書」の記載内容に変更があった場合。
5. 休学または留学をする場合。(科目履修だけでなく学外実習(教育実習や介護等体験など)に影響します。計画段階で早めに相談してください。)
6. その他、教職支援課に伝達が必要と思われる事項。例えば、実習校からの連絡を受けた場合など。

教員免許状の交付

教員免許状の取得に必要な単位を修得し、所定期日に免許状の申請手続を行った方は、卒業時に教員免許状を受け取ることができま

1. 教員免許状を受け取るには、免許教科1件につき3,600円(交付申請料3,400円及び大学が発行する証明書手数料200円)が必要です。
2. 教員免許状は愛知県教育委員会から交付されます。大学から一括して申請手続を行いますので、教員免許状取得見込の4年生は9月中旬の「教員免許状一括申請ガイダンス」に出席してください。

教職課程科目の履修登録

教職課程科目は、本学において「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」に区分していますが、それぞれに必要な単位をすべて修得してください。

1. 「教職共通科目」「教科に関する科目」の中には1年生から開講される科目がありますので、計画的に履修を始めてください。
2. 「教科に関する科目」「教職に関する科目」は免許状の種類・免許教科に応じた科目を修得してください。
3. 「教職に関する科目」(学部固有科目としても開講している科目を除く)の単位は、履修制限単位には含まれません。また卒業所要単位にも算入されません。
4. 「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」の中には、複数学科合同開講や履修者数制限を行う科目、隔年開講する科目等があります。自己責任において漏れのないよう履修登録を行ってください。

介護等体験

1. 中学校教諭1種免許状取得希望者は、3年生において、県下の「社会福祉施設(5日間)」と「特別支援学校(2日間)」で合計7日間の介護等体験が義務づけられています。体験先や体験日程の決定については、CHUKYO ALBOで案内します。
2. 介護等体験のスケジュールについては、次頁の「教職課程行事予定表」を参照してください。
3. 介護等体験に先立って行われる「介護等体験の事前指導」を受講しなければ、介護等体験に参加することができません。
4. 介護等体験参加者は「賠償責任保険」への加入が義務づけられています(スポーツ科学部生除く)。
5. 介護等体験を終了すると、「証明書」(事前指導で配付)に介護等体験先の学校長・施設長より署名捺印が受けられます。この「証明書」は免許状申請手続の際に必要ですので「体験記録」を添えて教職支援課へ提出してください。

マナー研修

「教育実習I」または「教育実習II」の履修要件として教職支援課が実施するマナー研修を受講済みであることが必要です。日程等の詳細については、CHUKYO ALBOで案内します。

教職課程行事予定表

●説明会・手続・履修 ○教育実習 ■介護等体験 ☆免許申請

対象学年	実施時期	履修行事	注意事項
1年	8月初旬	●スポーツ科学部教員免許状取得希望者講義及び教職課程ガイダンス	*学部担当教員より教員養成に対する理念・構想について説明します。 *教職支援課より履修方法と諸手続きについて説明します。 *このガイダンスに出席しないと、2年生からの教職課程への加入を認めません。
	12月～1月	●1年生教職課程ガイダンス(スポーツ科学部以外の学部)	*教職支援課より履修方法と諸手続きについて説明します。 *このガイダンスに出席しないと、2年生からの教職課程への加入を認めません。
	3月下旬	●教職課程の履修可能者発表(特定の学部) ●課程履修の申込み手続	*CHUKYO ALBOで発表します。 *教職課程履修登録費5,000円を納入してください。 *未手続き者は「教職に関する科目」の履修登録はできません。
2年	10月下旬	●2年生教職課程ガイダンス(■介護等体験説明ガイダンス)	*教職課程履修継続手続きについて説明します。 *このガイダンスで介護等体験の参加意志を確認しますので必ず出席してください。
	3月下旬	■介護等体験事前指導(中学校免許履修者)(1日講習) ●課程履修の継続手続	*2年生教職課程履修者ガイダンスに出席し、介護等体験の参加登録を行った方を対象とします。 *日程はCHUKYO ALBOで発表します。 *教育実習履修費23,000円を納入してください。 *未手続き者は「教職に関する科目」の履修登録ができません。
3年		●新3年生教職課程ガイダンス(教育実習準備説明)	*教育実習の依頼校の選定と受け入れ依頼の方法を説明します。
	4月中旬	■介護等体験費納入 ■介護等体験の賠償責任保険加入手続(スポーツ科学部除く)	*介護等体験事前指導に出席し、事前指導レポートを提出して体験参加が認められた方は、指定期間に体験費8,500円を納入してください。 *賠償責任保険については、学生支援室窓口で手続きを済ませてください。
	4月下旬～5月下旬	○教育実習受け入れの依頼 ○愛知県公立中、名古屋市立学校の教育実習希望登録	*教育実習希望学校へは、原則各自で申込みをします。 *新3年生教職課程ガイダンスで依頼方法を説明しますので、それ以前に依頼しないようにしてください。 *愛知県公立中、名古屋市立学校での教育実習希望者は、新3年生教職課程ガイダンスで配付する登録用紙を教職支援課へ提出してください。
	6月中旬～6月下旬	■介護等体験先決定(社会福祉施設 5日間) ■介護等体験の資料配布	*教職支援課窓口で発表・配布します。
	7月上旬～中旬	■介護等体験先決定(特別支援学校 2日間) ■介護等体験の資料配布	
	7月上旬以降(指定日)	■介護等体験オリエンテーション	*社会福祉施設(5日間)、特別支援学校(2日間)とも決定先別オリエンテーションの指定日を確認し、必ず出席してください。
	7月中旬～介護等体験開始日	■介護等体験による授業欠席届の提出開始	*欠席届は教職支援課窓口で受け取ってください。 *体験の1・2週間前に各授業担当教員へ提出してください。
	名古屋：6月下旬 豊田：9月下旬	○教育実習の自己紹介書提出	*未確定項目がある場合でも、期日までに一旦提出してください。
	8月～12月	■介護等体験の実施 ■証明書と体験記録の提出	*身なりや言動を正して体験を実施してください。 *計7日間の体験終了後、証明書と体験記録を教職支援課へ提出してください。
	2月下旬～3月中旬	○マナー研修の実施	*教育実習前までに必ず受講してください。日程等の詳細についてはCHUKYO ALBOで発表します。
3月下旬	○教育実習履修可能者発表 ●新4年生教職課程ガイダンス	*CHUKYO ALBOで発表します。 *教育実習の実施に関する諸注意と必要書類の説明をします。	
4年	4月初旬	○愛知県公立中、名古屋市立学校の実習校決定	*決定次第、対象者には、個別に必要な手続きの連絡をします。
	4月上旬以降	○教育実習期間と実習校との打合せ日程の確認	*実習校から届く回答を基に、各自で実習校に連絡をして日程を確認してください。
	4月中旬～教育実習開始日	○教育実習による授業欠席届の提出開始 ○教育実習の賠償責任保険加入手続(スポーツ科学部除く)	*欠席届は教職支援課窓口で受け取ってください。 *実習の1・2週間前に各授業担当教員へ提出してください。 *学生支援室窓口で手続きを済ませてください。
	4月中旬～11月下旬	○教育実習事前指導 ○教育実習巡回指導教員との打合せ ○教育実習事後指導	*実習中に担当教員(巡回指導教員)が実習校を訪問します。 *担当教員に実習中のスケジュール(研究授業日等)を伝え、訪問日を調整してください。 *実習中は担当教員と直接連絡が取れるようにしてください。
	5月～11月	○教育実習の実施	*身なりや言動を正して実習を実施してください。
	9月中旬	☆教員免許状一括申請ガイダンス	*免許状の申請を大学でとりまとめて行うための説明をします。 *3月卒業見込みで免許状申請に必要な単位を修得見込みの4年生が対象です。
	10月上旬	☆教員免許状一括申請手続(1回目)	*申請者登録カードの提出と同時に申請費用を納付してください。 *教育委員会へ免許状申請予定者として登録をします。
	11月下旬	☆教員免許状一括申請手続(2回目)	*教育委員会から登録者情報が出力されます。その内容を確認し捺印してください。
卒業式当日	○教育実習記録と指導案の返却 教員免許状の交付	*免許状等は卒業証書とともに渡します。	

注1. 教職課程行事の詳細は各ガイダンスまたはCHUKYO ALBOで連絡します。

注2. 実施時期の変更や上記以外の手続きやガイダンスが発生する場合があります。その場合は、予めCHUKYO ALBO等で連絡します。

注3. 教職課程行事とは別に「教員採用試験対策」の行事(参加は任意)を実施しています。詳細については、CHUKYO ALBOで案内します。

取得できる免許状の種類と教科

学部	学科	免許状の種類	免許教科
国際学部	言語文化学科	中学校教諭1種免許状	外国語(英語)
		高等学校教諭1種免許状	外国語(英語)

教職共通科目

免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目					履修可能学年	履修科目 チェック	
	授業科目	単位数						
		必修	選択必修					
日本国憲法	日本国憲法	2				1~4年		
体育	健康科学A		2	1科目2単位		1~4年		
	健康科学B		2	選択必修		1~4年		
	個人スポーツ・卓球I		1	2科目 2単位 選択必修		1~4年		
	個人スポーツ・卓球II		1			1~4年		
	個人スポーツ・硬式テニスI		1			1~4年		
	個人スポーツ・硬式テニスII		1			1~4年		
	個人スポーツ・バドミントンI		1			1~4年		
	個人スポーツ・バドミントンII		1			1~4年		
	個人スポーツ・ゴルフI		1			1~4年		
	個人スポーツ・ゴルフII		1			1~4年		
	個人スポーツ・フライングディスクI		1			1~4年		
	個人スポーツ・フライングディスクII		1			1~4年		
	チームスポーツ・バレーボールI		1			1~4年		
	チームスポーツ・バレーボールII		1			1~4年		
	チームスポーツ・バスケットボールI		1			1~4年		
	チームスポーツ・バスケットボールII		1			1~4年		
	チームスポーツ・ソフトボールI		1			1~4年		
	チームスポーツ・ソフトボールII		1			1~4年		
	チームスポーツ・サッカーI		1			1~4年		
	チームスポーツ・サッカーII		1			1~4年		
	チームスポーツ・カローリングI		1			1~4年		
	チームスポーツ・カローリングII		1			1~4年		
	フィットネス・トレーニングI		1			1~4年		
	フィットネス・トレーニングII		1			1~4年		
	フィットネス・フィットネスI		1			1~4年		
	フィットネス・フィットネスII		1			1~4年		
	フィットネス・エアロビクスI		1			1~4年		
	フィットネス・エアロビクスII		1			1~4年		
	シーズンスポーツA・ゴルフ		1			1~4年		
	シーズンスポーツB・スケート		1			1~4年		
	障害者スポーツA		1			1~4年		
	障害者スポーツB		1			1~4年		
外国語コミュニケーション	English for Practical Communication	2					1~4年	
情報機器の操作	コンピュータ処理論A		2		1科目2単位		1~4年	
	コンピュータ処理論B		2	選択必修		1~4年		

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21

教科に関する科目(中1種英語) (高1種英語)

施行規則に定める科目区分等 各科目に含めること が必要な事項	左記に対応する開設授業科目				主開講専修	
	授業科目	単位数		履修可能学年	専攻-専修	
		必修	選択			
英語学	ことばの仕組み	2	4単位中2単位 選択必修	1~4年	P5-1	
	英語学概論	2		1~4年	P6-1	
	理論言語学入門	2	72単位 中8単位 選択必修	2~4年	P5-1	
	統語と音韻の境界領域	4		2(3)~4年	P5-1 ※	
	比較統語論	4		2(3)~4年	P5-1 ※	
	Introduction to Linguistics	2		2~4年	P5-1	
	Workshop in Linguistic Research	4		2(3)~4年	P5-1 ※	
	理論言語学	4		2(3)~4年	P5-1 ※	
	音声学と音韻論	4		3~4年	P5-1	
	言語獲得	4		3~4年	P5-1	
	言語学特別研究	4		3~4年	P5-1	
	英語の歴史	4		2(3)~4年	P6-1 ※	
	English Language	2		2~4年	P6-1	
	英語の文構造	4		2(3)~4年	P6-1 ※	
	日英対照の英語学	4		2(3)~4年	P6-1 ※	
	英語と文化化	2		2~4年	P6-1	
	Topics in English Linguistics	4		2(3)~4年	P6-1 ※	
	英語の意味と語用	4		2(3)~4年	P6-1 ※	
	教育文法論	4		3~4年	P6-1	
	実用英語運用法	4		3~4年	P6-1	
Changes in English	4	3~4年		P6-1		
認知言語学と英語教育	4	3~4年		P6-1		
英語文学	英語圏文学概論	2	44単位 中4単位 選択必修	1~4年	P6-2	
	文学から学ぶ言語文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※	
	イギリス文学・文化研究(書物の形式と言語文化)	4		2(3)~4年	P6-2 ※	
	American Literary and Cultural Studies	4		2(3)~4年	P6-2 ※	
	英語圏の世界文学・文化研究	4		2(3)~4年	P6-2 ※	
	Understanding Film and Popular Culture	2		2~4年	P6-2	
	イギリス文学・文化研究(物語と映像メディア)	4		2(3)~4年	P6-2 ※	
	アメリカ文学・文化研究(物語と映像メディア)	4		2(3)~4年	P6-2 ※	
	Analyzing, Discussing and Writing about Literature, Film and Culture	4		2(3)~4年	P6-2 ※	
	Understanding Fiction, Drama and Poetry	2		2~4年	P6-2	
	Literature and Media for Children and Young Adults	4		3~4年	P6-2	
	映画論	4		3~4年	P6-2	
職業としての文学教育	4	3~4年	P6-2			
英語 コミュニケーション	English for Practical Communication	2		1~4年	世界の言語プログラム(英語)	
	English for Discussion and Presentation	2		1~4年	世界の言語プログラム(英語)	
	English for Academic Purposes	2		1~4年	世界の言語プログラム(英語)	
	Integrated Academic Skills I	2		2~4年	世界の言語プログラム(英語)	
	Integrated Academic Skills II	2		2~4年	世界の言語プログラム(英語)	
異文化理解	異文化理解概論	2	44単位 中4単位 選択必修	1~4年	P5-2	
	外国語学習から学ぶ複言語複文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※	
	多文化共生から学ぶ宗教文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※	
	映画から学ぶメディア文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※	
	Introduction to Theory of Culture	2		2~4年	P5-2	
	Glocal Studies in Japan	4		2(3)~4年	P5-2 ※	
	社会言語学から学ぶ言語文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※	
	芸術から学ぶ宗教文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※	
	ポピュラー文化から学ぶメディア文化	4		2(3)~4年	P5-2 ※	
	コミュニケーション論概論	2		2~4年	P5-2	
	ヨーロッパ文化研究	4		3~4年	P5-2	
	Workshop in Intercultural Communication Research	4		3~4年	P5-2	
文化科学研究	4	3~4年	P5-2			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を 合わせた内容に係る科目	英語科単元構成論	4		3~4年	P6-1	

●単位数 教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数含む) 36単位

【教科に関する科目の注意事項】

- ・※印科目について、※印科目の主開講専修が自専修以外の場合は履修登録画面に表示されない場合があります。履修希望の場合は必ず履修登録期間中に教務課窓口へ申し出てください。また、当該科目の履修可能学年について、自専修の場合は2年～、他専修の場合は3年～となります。
- ・自専修科目以外にも単位数を満たすよう履修及び修得する必要があります(卒業要件に含まれます)。
- ・自専修科目を修得したうえで、不足分についてを他専修科目から履修及び修得することを推奨します。

教職に関する科目

施行規則に定める 科目区分等	左記に対応する開設授業科目			
	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	履修可能 学年
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2	2~4年	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2~4年	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学習・発達論	2	2~4年	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育の制度と経営	2	2~4年	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	2~4年	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1	3~4年	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法I※1	4	2~4年	
	英語科教育法II※1	4	3~4年	
道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践※2	2	3~4年	
総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	3~4年	
特別活動の指導法				
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	2	3~4年	
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の方法	2	4年	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談(カウンセリングを含む)	2	3~4年	
教職実践演習	教職実践演習(中・高)※3	2	4年	
教育実習	教育実習I※4	5	4年	
	教育実習II※4	3	4年	

※1 中1種英語免許取得希望者は「英語科教育法I」と「英語科教育法II」の2科目必修。

※1 高1種英語免許取得希望者は「英語科教育法II」の1科目必修。

※2 中1種免許取得希望者は必修。

※3 「教職実践演習(中・高)」を履修するにあたり、所定の期間内に本学指定の「教職課程履修カルテ」を教職支援課に提出することが要件となります。

※4 中1種免許または中・高両免許取得希望者は「教育実習I」を履修してください。

※4 高1種免許のみ取得希望者は「教育実習II」を履修してください。

教育実習

教育実習を履修するためには、学部ごとに定められた下記履修要件を満たす必要があります。

教育実習の履修要件

免許状の種類		3年生終了時の 卒業所要単位の 修得単位数	教科教育法及び教職に関する科目の修得科目と修得科目数	マナー研修の受講
中学校 教諭1種	外国語 (英語)	90単位以上	英語科教育法I・IIを含む6科目以上を修得	教職支援課が実施するマナー研修を受講済みであること。
高等学校 教諭1種	外国語 (英語)	90単位以上	英語科教育法IIを含む5科目以上を修得	

注1. 「教育実習」は中学校教諭・高等学校教諭の免許の種類によって実習期間が異なります。

中・高両方の免許状取得希望者は、必ず「教育実習I(中学校教諭)5単位」を履修してください。

注2. 実習校への受け入れ内諾依頼は、実習を実施する前年度(原則、3年生)に学生本人が行います。

学生本人が依頼できない学校や、大学から申請を必要とする学校などについては、新3年生教職課程ガイダンスで説明します。

注3. 教育実習中に本人の過失による重大なトラブルが発生した場合は、教育実習期間中であっても実習を中止する場合があります。

通信課程による教員免許状取得について

■通信課程について

提携大学の通信教育科目等履修制度を活用し、本学在学中に以下の教員免許状を取得するプログラムを履修することができます。このプログラムには、学習意欲に富み、教員としての資質向上を目指し、且つ教職に就く強い意志を持ちあわせた学生を推薦します。なお、履修においては条件や別途費用が必要となります。詳細はガイダンスで説明しますので該当のガイダンスに必ず出席してください。また、本プログラム履修者は原則としてプログラムの途中辞退は認めません。

■取得できる免許状と履修期間

- ・小学校教諭2種免許状(履修期間：3・4年次の2年間)
 - ・特別支援学校教諭1種免許状(履修期間：2・3・4年次の3年間)
- 取得できる学部学科は以下のとおりです。

学部学科	文		国際	心理	法	経済	経営	総政	現社	工	スポ	
	目次／言葉	歴史									競技／健康	教育
小免	×	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○
特支免	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

○：履修可 ×：履修不可

■プログラム履修条件等

各プログラムの履修条件等は以下のとおりです。なお、同時履修はできません(どちらかのみ履修となります)。下記以外にも、履修希望理由書の提出や面談による履修決定、またプログラム開始後の履修状況により履修取り消し等の可能性もあります。

I. 小学校教諭2種免許状

《文学部歴史文化学科、心理・法・現代社会学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種)
- ・履修定員若干名

《国際学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校および高校教諭1種)および2年次終了時の成績が規程基準以上(GPA2.5以上、卒業所要単位56単位以上)
- ・履修定員若干名

《スポーツ科学部スポーツ教育学科》

- ・本学の教職課程履修者(中学校および高校教諭1種)および1年次終了時の成績が規程基準以上(GPA2.5以上、卒業所要単位40単位以上)
- ・2年次終了時の成績が規程基準以上(GPA2.5以上、卒業所要単位74単位以上)かつ教科教育法及び教職に関する科目(「体育科教育法IA」及び「保健科教育法IA」の2科目を含む)を5科目以上修得
- ・履修定員30名

II. 特別支援学校教諭1種免許状

《心理・経済・経営・総合政策学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種)
- ・履修定員若干名

《国際学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種)および1年次終了時までの成績が規程基準以上(GPA2.5以上、卒業所要単位32単位以上)
- ・履修定員若干名

《法学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種)および1年次終了時までの成績が規程基準以上(GPA2.0以上、卒業所要単位40単位以上)
- ・履修定員若干名

《スポーツ科学部》

- ・本学の教職課程履修者(中学校教諭1種および高校教諭1種)および1年次終了時までの成績が規程基準以上(GPA2.5以上、卒業所要単位40単位以上)
- ・履修定員22名

■履修スケジュール

I. 小学校教諭2種免許状

- ①「1年生教職課程ガイダンス」に必ず参加し、プログラム履修希望届を期日までに教職支援課に提出してください。
- ②学部教員による面接を受け、履修可否の決定を行います。(スポーツ

教育学科：1年次2月下旬～3月予定、その他学部：2年次秋学期)

- ③2年次1月中旬に入學手続きを行い、3年次から通信教育をスタートさせます。
- ④3年次の夏期休暇中にスクーリングの履修(協定大学への通学)があります。
- ⑤3年次の3月頃に履修継続手続きを行い、4年次も継続して通信教育を履修します。
- ⑥4年次秋学期(9～10月頃)に小学校で教育実習を行います(実習校への教育実習依頼は3年次で実施)。
- ⑦履修修了者は、卒業後教育委員会に小学校教諭2種免許状の個人申請を行います。

(注意)

- ・履修に際して各種ガイダンスが行われますので必ず参加してください。
- ・スポーツ教育学科の本プログラム履修生は、上記小学校での教育実習の他に、3年次に本学教職課程の「教育実習I」(原則中学校での教育実習、実習校への教育実習依頼は2年次で実施)を履修します。
- ・スポーツ教育学科以外の本プログラム履修生は、上記小学校教育実習の他に、4年次春学期に本学教職課程の「教育実習II」(中学校または高等学校での教育実習、実習校への教育実習依頼は3年次で実施)を履修します。
- ・介護等体験(7日間)は3年生で実施します。スポーツ教育学科生は教育実習と重ならないように教職支援課が介護等体験の日程調整をします。

II. 特別支援学校教諭1種免許状

- ①「1年生教職課程ガイダンス」および「特別支援学校免許状取得プログラム説明会」に必ず参加し、プログラム履修希望届を期日までに教職支援課に提出してください。

- ②1年次1月～2月下旬頃に学部教員による面接を受け、履修可否の決定を行います。
- ③1年次2月下旬に入學手続きを行い、2年次から通信教育をスタートさせます。
- ④2年次および3年次の3月頃に履修継続手続きを行い、次年度も継続して通信教育を履修します。
- ⑤3年次の夏期休暇中にスクーリングの履修(協定大学への通学)があります。
- ⑥4年次秋学期(9～10月頃)に特別支援学校で教育実習を行います(実習校への教育実習依頼は3年次で実施)。
- ⑦履修修了者は、卒業後教育委員会に特別支援学校教諭1種免許状の個人申請を行います。

(注意)

- ・履修に際して各種ガイダンスが行われますので必ず参加してください。
- ・本プログラム履修生は、上記特別支援学校での教育実習の他に、4年次春学期に本学教職課程の「教育実習I」(中学校または高等学校での教育実習、実習校への教育実習依頼は3年次で実施)を履修します。

■学費等納付金について

入学時および継続時に協定大学へ学費等を納付します。金額は以下のとおりです。また、入学手続きや各種レポート提出における郵送料、スクーリング履修時の交通費・宿泊費等が別途必要です。

I. 小学校教諭2種免許状

項目	金額
1年目(入学費、スクーリング費)	215,000円
2年目(継続手続き費、教育実習指導費)	141,000円
合計	356,000円

II. 特別支援学校教諭1種免許状

項目	金額
1年目(入学費)	111,000円
2年目(継続手続き費、スクーリング費)	193,000円
3年目(継続手続き費、教育実習指導費)	135,000円
合計	439,000円

※I、IIともに2019年度諸費一覧であり、次年度以降一部改正する場合があります。また履修状況により変動する場合があります。

■その他(提携大学について)

- ・小学校教諭2種免許状：玉川大学通信教育課程
- ・特別支援学校教諭1種免許状：明星大学通信教育部

17 日本語教員養成課程について

問合せ先 教務課：名古屋 5号館 1F

日本語教員養成課程について

日本語を母語としない人、主に外国人に日本語を教える「日本語教員」は、国際化の進展に伴い年々ニーズが高まっています。優秀な日本語指導者を求める国内外の声にこたえるため、中京大学では国際学部と文学部が協同し、「日本語教員養成課程」を設置しています。4年間で必要な区分の単位を修得することによって、卒業時に「日本語教員養成課程修了証明書」を発行します。

課程履修者の定員について

国際学部の各学年の定員は10名です。履修希望者が10名を超えた場合には、第2セメスター終了時のGPAで選抜します。

課程を修了するためには

日本語教員養成課程を修了しようとする学生は、下表の「日本語教員養成課程カリキュラム区分」で示す単位について修得する必要があります。各科目の内訳については、ページ下部の「日本語教員養成課程カリキュラム」にて確認してください。

【日本語教員養成課程カリキュラム区分】

社会・文化・地域	言語と社会	言語と心理	言語と教育	言語
4単位	4単位	2単位	6単位	10単位

日本語教員養成課程への登録について

日本語教員養成課程を修了するためには、「日本語教員養成課程」への登録が必要です。

- (1)日本語教員養成課程の科目は、2年生春学期から履修を開始します。
- (2)課程登録のためには、1年生秋学期の3月に実施する「日本語教員養成課程ガイダンス」への参加が必須です。ガイダンス開催日程については、ALBOでお知らせします。ガイダンス終了後、3月中に所定の手続きを行う必要があります。詳細はガイダンス時にお知らせします。
- (3)国際学部の各学年の定員は10名です。10名を超えた場合は、第2セメスター終了時のGPAにて選抜します。

日本語教員養成課程カリキュラム

区分	所要単位	科目名	単位	履修可能学年	要件	開講主体
社会・文化・地域	4	Introduction to Theory of Culture	2	2~4年	2科目選択必修(4単位)	国際学部
		社会学A	2	1~4年		全学共通
		社会学B	2	1~4年		全学共通
言語と社会	4	社会言語学から学ぶ言語文化	4	2~4年	1科目必修(4単位)	国際学部
言語と心理	2	言語学B	2	1~4年	1科目選択必修(2単位)	全学共通
		Introduction to Linguistics	2	2~4年		国際学部
言語と教育	6	日本語教授法	2	※2~3年	3科目必修(6単位)	国際学部
		日本語教育実習	2	※3~4年		国際学部
		言語表現学特論Ⅵ	2	※3~4年		文学部
言語	10	日本語学	2	※2~3年	2科目必修(4単位)	国際学部
		言語表現学特論Ⅴ	2	3~4年		文学部
		現代日本語論Ⅰ	2	2~4年	3科目選択必修(6単位)	文学部
		現代日本語論Ⅱ	2	2~4年		文学部
		情報技術とことば	2	2~4年		文学部
		コミュニケーション論Ⅰ	2	2~4年		文学部
		コミュニケーション論Ⅱ	2	2~4年		文学部
		話芸の世界	2	2~4年		文学部

【留意事項】

※「日本語教育実習」については、「日本語学」「日本語教授法」「言語表現学特論Ⅵ」を修得した後に履修することが望まれます。

日本語教育実習について

日本語教員養成課程の必修科目である「日本語教育実習」は、国内・海外の2種類があります。シラバスを確認し、担当教員に相談のうえ、どちらか一方を3年次もしくは4年次に履修してください。

【国内実習】

秋学期開講期間中、本学及び学外のNPO法人が実施する日本語クラスで実習を行います。

【海外実習】

オセアニア(ニュージーランドまたはオーストラリア)で現地の中高一貫生に英語で日本語を教える実習を春季休暇(2~3月)中に2~3週間かけて行います。

費用や詳細な内容は説明会にて案内します。

科目の履修方法と注意事項について

1. 日本語教員養成課程の履修単位は、全学共通科目及び国際学部の学部固有科目として開講している科目は履修登録制限単位・卒業所要単位に含まれます。
2. 日本語教員養成課程時間割は、日本語教員養成課程ガイダンスにて配布します。配当学年及び開講期(春・秋)を確認した上で、計画的に履修してください。
3. 日本語教員養成課程科目の履修登録は、以下の通り行ってください。
 - (1)全学共通科目
→各自ALBOの履修申請画面にて登録を行ってください。
 - (2)国際学部学部固有科目及び文学部学部固有科目
→教務課窓口にて履修登録を個別に受け付けます。受付期間はALBOにてお知らせします。受付後、ALBOの履修申請画面にて正しく登録されているかを確認してください。
4. 開講主体別の単位集計については、以下の通りです。
 - ①全学共通→通常の全学共通科目の修得単位として、卒業要件に算入されます。
 - ②国際学部→所属専攻・専修以外の科目については、選択科目の単位として卒業要件に算入されます。
 - ③文学部→卒業要件には算入されず、自由単位となります。

修了証明書の発行

在学中に日本語教員養成課程における所定の単位を修得した方には、本学より卒業式当日に日本語教員養成課程修了証明書を発行します。